

# そよかぜだより

第83号  
発行 2009.4.19  
毎月1回発行  
社会福祉法人  
そよかぜ  
http://www.mmjp.or.jp/soyokaze/  
連絡先  
ひばり園 578-0855  
FAX 578-0466  
くれよん 578-2575  
つくしの家 578-0855  
あおぞら 570-6110  
エール 570-1233  
資源回収時のご連絡は「ひばり園」へ

4月2日は「世界自閉症啓発デー」  
4月2日から8日までは

## 「発達障害啓発週間」

国連は2007年12月、自閉症者への理解を推進することを盛り込んだ「4月2日を世界自閉症啓発デーに定める決議」を採択しました。このことは、わが国ではあまり知られていませんでしたが、日本自閉症協会の働きかけによって今年から啓発活動や交流事業が行われるようになりました。

厚生労働省と日本自閉症協会は4月2日、啓発デーに合せて初めてのシンポジウムを都内で開きました。同時に実行委員会では4月2日から8日を「発達障害啓発週間」と決めました。つまり自閉症と発達障害は、厳密に分けることがむづかしいほど、基本的に同じ障害であることと見られているわけです。

同シンポジウムでの主催者あいさつで、大村厚労副大臣は「世界自閉症啓発デーと発達障害啓発週間を契機に、発達障害への理解がさらに広く浸透していくことになれば」と述べました。

自閉症協会の石井哲夫会長は「自閉症の悪い所ばかり注目され、職場や地域で障害さされてしまうこともあり、社会の中で理解者を増やしていく必要がある」と訴えました。

また、松田文雄・松田病院長は、自閉症は育て方や育つ環境とは関係なく、先天的な脳の働きの問題であることを説明したあと「私たちは自閉症の人が不安を少なくするための行動を困ったことだと考えてしまう。見方を変えてほしい」とのべました。

行政の立場から日詰正夫・発達障害対策専門官は、自立支援法の改正案で、障害者の範疇に発達障害者を含めるこ

とを説明したあと「当事者が自分にとって必要な支援を伝える仕組みを作れるように国として取り組んでいく」としました。自閉症と発達障害に共通の課題はコミュニケーション能力で、それを補うよい仕組みがあれば、正しい支援につながるからです。

社会福祉法人 **そよかぜ** の

## 《資源回収》に

ご協力をお願いします  
新聞、雑誌、ダンボール

(ボロは扱っていません)

3月は24,810tでした。金額は399,867円となりました。この収益は、社会福祉法人そよかぜの運営資金になります。みなさまのご協力ありがとうございました。

5月は第3日曜日17日です。

大雨の場合は、次週の日曜日に順延します。

## そよかぜ各事業の ゴールデンウィーク休業予定

ひばり園・あおぞら  
4月29日～5月5日  
つくしの家  
4月25日～5月6日  
リサイクルショップくれよん  
5月2日～5月6日  
羽村市障害者就労支援センター  
エール  
4月29日  
5月3日～5月6日  
以上の通りです。  
よろしくお願ひします。

ご協力ありがとうございました。 3月の募金 35,151円  
(順不同) 平成20年4月～平成21年3月の合計 626,342円

野々村 豊	様	高橋 典子	様	北野 浩美	様
とまと美容室	様	藤野 和子	様	田中 明子	様
加部 妙子	様	大野 元雄	様	臼井 道代	様
宇津木 牧夫	様	森田 勝	様	市村酸素(株)	様
濱野 岬	様	帯刀 進	様	小林 幸一	様
清水 賢	様	山下 暉枝	様	橋本 亜紀子	様
清水 知子	様	天満 喜代子	様	平岡 知子	様
袴田 実	様	川崎 利男	様	村野 理子	様
山崎 六雄	様	竹内 照夫	様	田村 由親子	様
阿部 郁子	様	関村 理	様	田村 千佳	様
下田 コウ	様	関村 英希	様	吉野 満里子	様
榎本 正代	様	清水 キヨ子	様	長谷川 キヌ子	様
松岡 竹子	様	尾又 恭子	様	関谷 孝子	様
角野 克子	様	角野 満壽子	様	本間 正彦	様
渡辺 四郎	様	斉藤 忠	様	田中 稔	様
永岡 智恵子	様	平野 嘉子	様	山影 幸子	様
小沢 達子	様	土屋 三枝子	様	桜沢 喜作	様
大野 素子	様				

ご連絡は、ひばり園へ  
羽村市五ノ神2-6-7  
042-578-0855

くれよん3月の売上げ  
695,420円でした。

羽村市内の小学校と中学校の生徒のみなさんが、各学校単位でプルトップ収集にご協力して下さっています。ありがとうございます。

## 建設中の新施設の紹介

### 大きな作業室、ゆとりある設備

鉄筋コンクリート2階建、利用者定員66名

3月から新しい施設の建設工事が始まり、ただいま順調に進行中です。この用地の周辺には民家がないので「たいへん仕事がやりやすい」と、俵島田組の担当者はいっています。当初の計画通りに工事が進めば今年9月末に竣工し10月には引渡しされます。

引渡しがあればさっそく、ひばり園とおおぞらは新しい施設に引越します。引越し作業は両作業所の職員が中心になって、一部の利用者にも手伝ってもらいながら行うこととなります。しかしいま現在の作業を中断して、仕事をいただいている各企業に迷惑をかけることはできないので、作業を継続しながら引越しをすることになります。そのため引越し完了までにはかなり時間がかかりそうです。すべて終わって全員が新しい施設で作業できるようになるのは、年が明けてからになるかもしれません。

上の立体的な外観図でもわかるように、建物が大きく広がるだけでなく、敷地も広いので十分な駐車スペースがとれます。いまのひばり園は、来客用の駐車場がないので、車でおいでの方に迷惑をかけています。今度は安心して車でおいでいただけます。また、車の入り口は一般車用と作業車専用の二つを設けることができますので、来客の車のために作業車が動けないという、現ひばり園が毎日のように経験している事態は完全に解消されます。作業効率も安全性も向上します。

つて行事にも使えます。1、2階共にトイレ等の設備は十分ですから、順番待ちの行列もなくなります。

ただ、利用者の中からいまのひばり園より「駅から遠くなる」ことについて、心配する声が出ています。利用者は年齢とともに、体力や身体機能が衰えてきている人も多くなっているのです、通勤問題については、新施設においてなんらかの対策を立てたいと考えています。

## 1階平面図

2階には、作業室、食堂、多目的室、静養室等